

学習ノートを活用した生徒 理解と自己認識に関する研究

部活動を利用した指導、支援の実践を中
心に(事例1 Y男)

佐藤 誠也(岩手県立不来方高等学校)

目的

学習ノートを活用した自己評価活動を通して自己認識を深め、自主的、主体的な学習姿勢を促す指導、支援のあり方について事例的に明らかにする

調査内容

1 アンケート調査

調査1 (ノート活用、学習相談)

調査2 (自己評価)

2 指導、支援の実践

調査3 (ノートを活用した自己評価)

事例1 (Y男)

事例2 (T男)

調査対象

- 調査1、調査2

岩手県立K高等学校 2学年

2クラス 68名

- 調査3

岩手県立K高等学校 生物 Bの授業

事例1 2年 組 人文クラス Y男

事例2 2年 組 理数クラス T男

対象生徒の概要

事例1 Y男

- ・学習には消極的で、生物は苦手
- ・進路は未定
- ・硬式野球部の中心選手として積極的に活動

事例2 T男

- ・学習には前向きで、生物は好きな科目
- ・進路は医療関係の進学を希望
- ・硬式野球部の中心選手だが積極性に欠ける面も見られる

自己認識と自己評価(安彦)

自己評価は「自己認識」の通路と述べ、その場面を保障し改善、工夫を加えるなど効果的な自己評価活動により、自己認識の教育を実現すべきである

実践方法

1. 授業の様子をフィールドノートで記録する
2. 生徒は授業後、自己評価を学習ノートに記入し、提出する(左ページに板書事項、右ページに自己評価、教師のコメント)
3. 昼休み、放課後を利用して個別指導(10分程度)をおこない、その様子をテープレコーダーに記録する

自己評価、指導のポイント

- **自由記述式(文章法)**
詳細情報、評価する実感、書くことの効果
- **コメント(朱書き)を必ず入れる**
教師による他者評価、信頼関係
- **個別指導(相談)の重視**
カウンセリング効果、つまずきに対する検証

指導のパターン

A	自己評価	コメント	
B	自己評価	コメント	個別指導
C	自己評価	コメント	個別指導
	自己評価		

A B C

生徒は自己強化がはかられ、教師は生徒理解が深まる

授業後の自己評価

毎時間丁寧に教えてくれるし、わかりやすい授業だと思った。1年の時などにやった忘れていた部分を復習することは、**センター試験にもつながる**のでいいと思った。今やっているところは**自分的に苦手**なので、**一生懸命勉強**していきたいと思った。

深浅レベル(梶田)

- 全体的印象
(わかりやすい授業であった)
- 思い起こし
(復習することはいいと思った)
- ポイント確認
- 分析的評価
- 総合的評価

「何をどのように書くか」がわからない

T 書くのは得意でない？ T教師 S生徒

S 文章書くのが苦手です

T どういうこと書いたらいいかわからないとか？

S はい、それとうまくまとめられないというか

T ポイントをしぼっていくと書きやすいと思うけど

S ポイントがわからないというか

部活動から見つめると

T 勉強から自分を見つめるのはきつい？

S ちょっときついですが(笑いながら)

T 部活動からだともっと書ける？

S 書けます

T 何で書けるかな？

S 好きなことやっているのだから、自分を深く見つめられるというか

T 野球から見ればもっと自分の状態が見えるかもしれない？

S はい

部活動ノートで自己認識を深める試み

- 積極的に活動をしている部活動から自己を見つめることにより、質的、量的に深まる
見方、考え方、書き方を覚える
- 教科からの振り返りにフィードバックが可能で、活用できるのでは

部活動ノートの記述例

- なぜこの練習が必要なのか、この順序のほうがいいのではないだろうか
- どのように教えてあげたら修正できるだろうか
- 考査では100位以内を目標に取り組もう
- 安打の方向、何球目に打っているか、打率、打点などの分析

教師のコメント

これくらい自分で振り返り、分析できことは、なかなかやろうと思ってもできないものです。あとは、それを実行に移していくことだけです。いい結果に結びつくと予想しています。

勉強の振り返りも同じだと思います。考査に向けて計画的に実行できれば、結果はついてくるはずですよ。

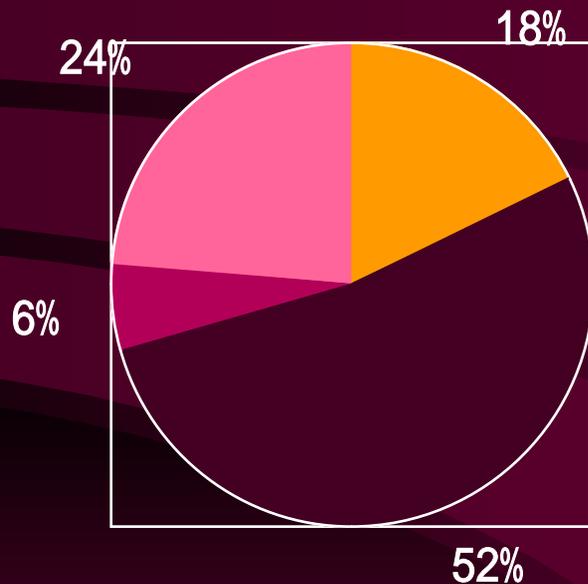
結果と課題

- 量的には3行 10行程度の記述が可能
- 質的には、全体的印象、思い起こしレベル
分析的評価、総合的評価レベルに向上
- 疑問、提案、他者へのアドバイスなどの記述が多くなっていく(事例2 T男も同様)
- 今後の課題は、この振り返りを学習活動へフィードバックさせ、活用できるか

学習会の実施を提案

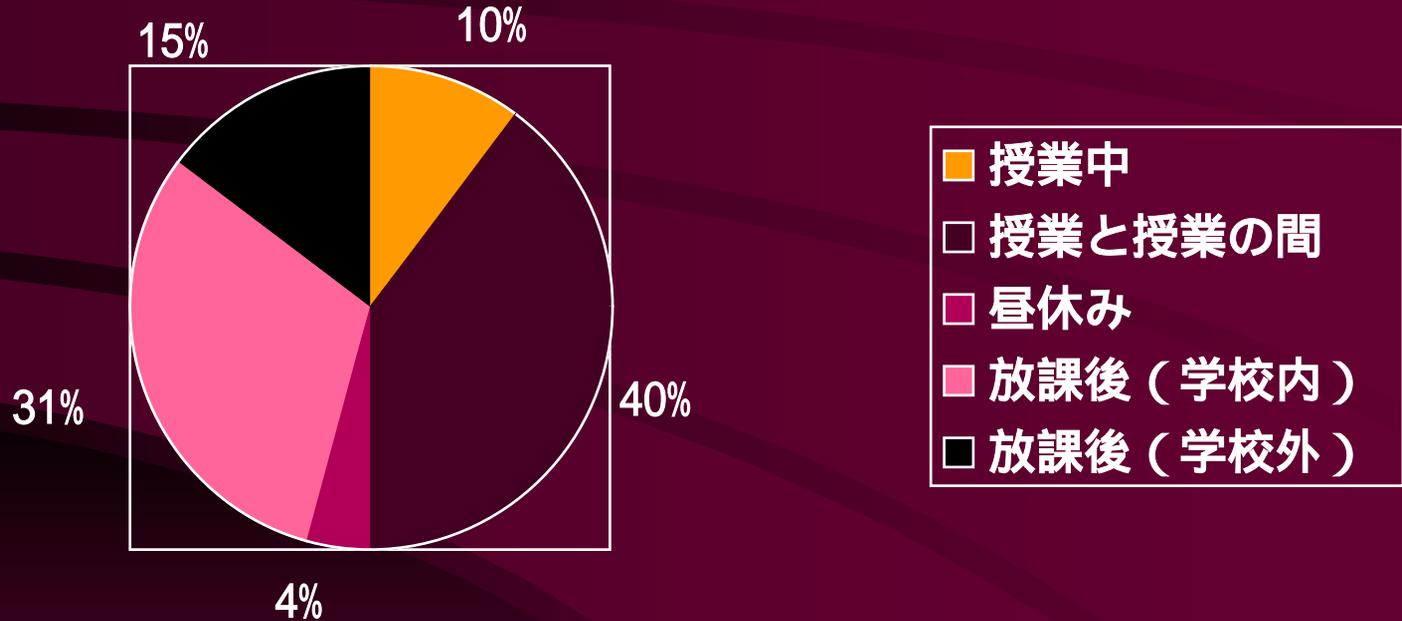
- 学習に消極的だったY男が、**野球部**の生物選択者(計6名)の意見をまとめ提案
- 考査1週間前(部活動停止期間)のある日の放課後に実施
自主的、主体的姿勢のあらわれ

調査1 相談する友人は同じ クラス、同じ部活動か



- 同じクラス、同じ部活動
- 同じクラス、別の部活動
- 別のクラス、別の部活動
- 別のクラス、同じ部活動

調査1 友人にはいつ相談しているか



学習会を実施して

部活動からできる学習指導のあり方、特に
も**考査前、週末、長期休業中**においての
部独自の学習活動の実施、部顧問の学習
指導のあり方の検討

指導を通しての自己評価

指導、支援の結果

- 授業の見方が変わった
- 復習するようになった
- わからないところを解決できるようになった
- 工夫して覚えるとわかりやすい
- 教師に気楽にわからないところを聞ける

「クラブノートは自分の思ったことが書けるし、反省もできるので続けていこうと思った。勉強もクラブのこともその日のことを振り返り反省するということに関しては同じだと思うので、その日のことをまとめて書くことは大切だと思った」

これまでのまとめ

- 部活動ノートの活用により自己認識が深まり自主的、主体的な姿勢がみられ
教科へのフィードバックも期待できる
- ノートへの自己評価の記入、個別指導の重視は、生徒理解に有効で、学習指導だけでなく、生徒指導の充実や生徒と教師との関係づくりにも有効

今後の研究の方向

- 教科担任ができる生徒理解をベースにした学習指導と個に応じた支援のあり方
 - 教科からできる生徒指導
- 部活動を利用した学習指導のあり方、部顧問の学習指導方法
 - 部活動からできる学習指導、支援
- 学習指導と生徒指導の充実に向け、クラス担任、教科担任、部顧問の役割、連携について